

## 祝 統計調査功績者表彰受賞



総務大臣表彰  
豊田 文子さん  
(泉)

昭和60年より、国勢調査7回、農林業センサス5回、工業統計調査23回など計55回の各種基幹統計調査に従事され、長年にわたり統計行政の推進に多大な貢献をされたことがたたえられ、受賞されました。



経済産業大臣表彰  
坂巻 重行さん  
(木幡)

平成17年より、計31回の各種基幹統計調査に従事し、特に経済産業省主管の工業統計調査に11回従事されるなど、統計行政の推進に多大な貢献をされたことがたたえられ、受賞されました。

## 12/14 (火) スポーツ庁長官表彰受賞

都内で、「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」の表彰式が行われ、本市がスポーツ庁長官表彰を受賞しました。この表彰は、スポーツによる特色あるまちづくりを推進する自治体を応援するため、当庁が本年度創設したものです。令和6年度開館予定の市文化スポーツ複合施設を拠点に、人工知能などのデジタル技術を導入し、市民の健康増進やスポーツツーリズムに取り組む本市計画が評価され受賞となりました。

齋藤市長は「スポーツを通じた持続可能なまちづくりを加速させていきたい」と話しました。



▲(左) 室伏スポーツ庁長官 (右) 齋藤市長  
※第1回となる今回は、全国30自治体が表彰され、県内では本市が唯一選ばれました。

## 12/14 (火) 中学生が一日税務署長体験

氏家税務署で、令和3年度中学生の「税についての作文」において全国納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した、片岡中学校3年生の小野 琴未さんが、一日税務署長を務めました。中山署長から委嘱状を受け取った小野さんは、同署幹部職員などを前に「署長訓示」として受賞作「私達の暮らしを支える税金について」を朗読したほか、署内視察などを行いました。

小野さんは「これからも税の理解を深めていきたい。税金は必要なところに大切に使われてほしい」と話していました。



▲(左) 小野 琴未さん (片岡中3年) (右) 中山氏家税務署長  
※「税についての作文」は、中学生の税に関する理解と関心を高めるために、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共催で行うもので、本年度は全国6,482校から450,142編の作文が寄せられました。

## 12/19 (日) 迅速な支援につなげる

市内で、たかはらさくら青年会議所(JC)と市社会福祉協議会(社協)との「災害時における協力体制に関する協定」調印式が行われました。これは、災害ボランティアセンターが開設された際、JCが人員派遣や資材提供などの支援を迅速に実施できるよう、あらかじめ支援内容や体制を整える目的で行われたものです。

JCの豊岡理事長は「災害ボランティアの活動経験から、社協との連携の必要性を強く感じた。いざと言う時、効果的な支援を速やかに行えるよう備えたい」と話されました。



▲(左) 社会福祉法人 矢板市社会福祉協議会 福田 博光会長 (右) 一般社団法人 たかはらさくら青年会議所 豊岡 弘明理事長

## 祝 新成人の皆さん、おめでとうございます！

1月9日(日)、2年ぶりとなる成人式が矢板イースタンホテル、泉・片岡公民館の3会場で出身中学校ごとに開催され、278人が出席しました。新成人たちは、旧友との久しぶりの再会に記念撮影をするなど、会場は笑顔であふれました。式典では、成人式実行委員会を中心に企画された記念事業のほか、新成人代表の挨拶が行われるなど、1人ひとりが成人としての決意を新たにしていました。

新成人代表の1人、花塚 朱音さんは「ふるさと矢板への感謝の気持ちを忘れず、責任をもって社会人として歩んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。



## 12/25 (土) サンタからプレゼント

道の駅やいた・JR矢板駅周辺の道路沿いを、サンタクロース姿に扮した自転車愛好家グループ「やいたサイクルコミュニケーションズ」の方たちがごみ拾いを行いました。これは、コロナ禍前に行っていた、子どもたちにお菓子をプレゼントするイベント「サンタライド」の代わりに、きれいな道を皆さんにプレゼントしようと企画したものです。

代表の藤田さんは「日頃サイクリングで使う道に感謝を込めて行った。次のクリスマスにはサンタライドが行えるよう、コロナの終息を願っている」と話してくれました。

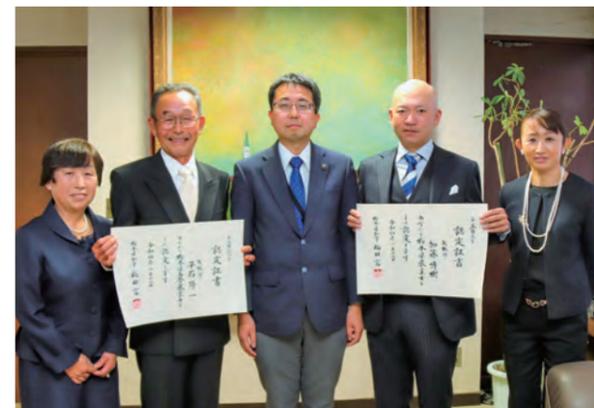


## 1/11 (火) 県農業士・名誉農業士認定

県農業士に認定された加藤 博樹さん(長井)と名誉農業士に認定された平石 陽一さん(長井)のご夫妻が市役所を訪れ、市長に認定の報告を行いました。

加藤さんは、農産物生産法人の代表として果樹園経営や6次産業化を实践し、認定農業者としても実直に取り組まれるなど、農業者の模範となっていることが認められました。

平石さんは、平成21年度に県農業士に認定され、13年もの長きに渡り農業の振興・発展に尽力されたことが認められました。



▲(左から) 平石さんご夫妻、齋藤市長、加藤さんご夫妻